

# アグリパーク便り vol.36

2018年3月31日 発行

発行：和光「農」のあるくらしを進める会  
代表：竹村 幸子  
〒351-0115 埼玉県和光市新倉8-10-30  
TEL/FAX 048-465-1632

## 和光「農」のあるくらしを進める会

### 活動

平成30年度の市民農園利用手続きも無事終了し、順調に済むことができました。残った空き区画についての受付も2月、3月と順調に進んで利用手続きしております。

農業体験センターの管理業務は、平成24年度市民協働事業提案制度のもとに、和光「農」のあるくらしを進める会が受託して6年になります

当団体は市民農園の管理業務を遵守するとともに、首都圏に最も近い自然環境と共生する和光市の貴重な地域資源として、この優良農地を地権者と協力して、持続可能な環境保全を推進しています。また、「食育・農」をキーワードに農業団体や消費者団体、環境・教育・福祉などの関係団体と協働して、「農」のあるくらしのコミュニティを推進しています。

主な催事業は、夏休み期の猛暑のなか、若者世代や子どもたちを対象として、農に親しむ機会を作る目的に、NPO法人こども・みらい・わこあそびの森企画チームと共催して、新倉の七夕飾りの伝承、スイカわり、野菜すくいゲームなどをして若者世代や子ども達の笑顔から「農」のあるくらしの楽しさを新発見していただいています。

秋の農まつりでは、JAあさか野、坂下土地改良区環境保全組合、和光農産物直売センター、和光市農業後継者倶楽部と実行委員会方式で開催しています。

大きな特色は市民農園利用者対象にした「市民農園景観立毛品評会」を行っていることです。景観立毛品評会

は、

- ・ 農園が整頓されているか
- ・ 雑草が少ないか
- ・ 植物の生育状況が良いか
- ・ 栽培技術があるか
- ・ 全体的に見た景観が良いかを採点基準に審査しています。

野菜づくり講習会は4月夏野菜苗の植え方、5月夏野菜づくり芽かき、支柱の立て等の育成、8月は秋野菜づくり、3月は土作りの講習会、農あるくらしサロン講習会でラベンダースティックづくり講習会、アグリパークで生き物観察会、和光産農林61号のうどんづくり講習会、埼玉県産大豆、米使用のこだわり味噌づくり講習会、農業体験事業は今年からの米づくり体験、小麦づくり体験、冬採りジャガ芋づくり体験などと植付けから収穫までの体験を行いました。今年には子育て世代の参加者が多く親子で初めて経験することが「農」を食育の大切さを知っていただけたと思います。

